

東播工 - 災害時支援プロジェクト

T-DAP



「防災の知識・技術」
「地域との関わり」
「人と人とのつながり」
「共助の力」

T-DAP の目的

本校は播磨臨海工業地域に隣接しており、毎年8割（約160名）の生徒が就職している。その大半が地元に残り、地域社会の担い手として活躍している。そうした中で、近年増加する自然災害に備えて在学中から防災意識を高め、卒業後も地域の防災リーダーとして活動できる人材の育成及び地域防災力の向上を目的とする。

T-DAP の活動

- 1 社会福祉協議会と連携し、被災地の災害支援ボランティア活動に参加
- 2 (高校生等)防災リーダー学習会への参加
- 3 兵庫県・播磨広域合同訓練への参加
- 4 地域を巻き込んだ実践的な合同防災訓練の実施
- 5 防災グッズの製作
- 6 炊出し訓練の実施
- 7 成果発表

募金活動

地域合同
防災訓練

被災地の
支援

避難所の
運営

防災グッズ
製作

文部科学省委託事業

「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」 防災教育推進校

- 1 (高校生等)防災リーダー学習会への参加
地域の防災リーダーやボランティアリーダーとしての活動等を学ぶ学習会へ生徒を参加させ、地域防災、ボランティアに関する意識を高める。
実施内容：ボランティア講話、ワークショップ、地域防災活動 等
- 2 被災地でのボランティア活動の参加
高校生等防災リーダー学習会参加生徒のうち、希望者を東北被災地でのボランティア活動に参加させる。
活動内容：仮設住宅訪問など被災地ボランティアセンターと連携し、現地の要望に沿った活動を行う。
- 3 推進校での報告会の実施
高校生等防災リーダー学習会や被災地でのボランティア活動に参加した生徒の活動報告会等を実施し、学校全体で防災意識やボランティア意識を高める取組を実施する。
- 4 各学校におけるボランティア活動等の推進
被災地でのボランティア活動だけに留まらず、各校において高校生等防災リーダー学習会や東北被災地でのボランティア活動の学習成果を活かし、地域のボランティア活動にも積極的に参加する等、生徒のボランティア意識等を高める取組を実施する。
- 5 高校生等防災リーダー活動報告会への参加
県教育委員会が実施する1～4の取組についての活動報告会に参加し、各校でのボランティア活動等の取組について発表し、他校と情報共有することを通して、更に生徒のボランティア意識を高め、自校の防災教育の充実を図る。

文部科学省委託事業「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」防災教育推進校の趣旨

兵庫県では、阪神・淡路大震災の経験を教育に生かすべく、児童生徒に自らの生命を守る力を身に付けさせる従来の安全教育に加え、助け合いやボランティア精神など「共生」の心を育み、人間としての在り方生き方を考えさせる「兵庫の防災教育」を推進するとともに、その発信に努めてきた。また、東日本大震災を受けて、今後の防災教育や防災体制の充実のための要点として、自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」の育成、支援者となる視点から、安全で安心な社会づくりに貢献する意識の向上などが必要であると指摘されている。

そこで、文部科学省委託事業「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」を活用し、兵庫県教育委員会が防災教育推進校（以下「推進校」という。）を指定して、高校生等防災リーダーの育成を図り、兵庫の防災教育の一層の充実に資する取り組みがなされている。